

## 《令和五年度 全国学力・学習状況調査結果のお知らせ》

先日個人票の配付をさせていただいた、4月18日に行われました全国学力・学習状況調査（6年生）の上山小学校の結果をお知らせいたします。国語、算数ともにやや全国の平均正答率下回っています。国語では「情報の扱い方に関する事項」において、正答率が高い結果が見られました。これは、原因と結果、語句と語句のつながりなど情報と情報との関係を文章から読み取るという力です。一方、「話し手が伝えたいこと、自分が聞きたいことの中心を捉える」「自分の考えをまとめる」ということなどの話すこと、聞くこと、「相手に伝わるように書き表し方を工夫する」という書くことに課題が見られました。算数では、数と計算の「立式」「計算」の項目において、正答率が高い結果が見られました。一方、図形の「図形の性質や構成の仕方の考察」、変化と関係の「比例の関係を使った数量の求め方」の項目に課題が見られました。

日々の生活の様子を問う設問では、学習面では項目にあった国語、算数、外国語の3教科の学習に対する必要感が高く意欲的に学習に向かっていることが分かりました。生活面では「誰かの役に立つ人間になりたい」「友達関係に満足している」と回答した子どもが多く、自分のよさを生かしながら目標をもち友達と協力し合って生活している姿がうかがえます。「読書に親しむ時間」に全国の学校と比べ、課題が見られました。こうした結果を踏まえ、ご家庭と連携をとりながら、中学校生活も見据え、子ども達が自身のよさをさらに伸ばしていけるよう支援していきます。また、主体的に学習しようとする力が高まるように、授業改善を進め、子ども一人一人が充実した学習を行えるように努めて参ります。